

(別添4)

## 【芦屋町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申では、「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が示されており、本町においても、1人1台端末やICT機器を活用した基本的な学習の定着、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の充実を図り、ICT機器を活用した主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

そのため、教職員のICT活用指導力の向上を目指しICT活用に関する研修の推進、ICTの効果的な活用を研究・実践していきます。

#### 2. GIGA第1期の総括

本町においては、指導者用デジタル教科書、電子黒板などICT環境の整備・充実に積極的に取り組んできました。令和元年度に1人1台端末（児童生徒の1/3台）を先行整備し、令和2年度のGIGAスクール構想にて1人1台端末の整備が完了しました。

令和元年度に整備した1人1台端末については、導入後4年以上が経過しているため、バッテリーの消耗など、授業での活用に支障が出る場面が増えつつあるため、令和6年度に更新を実施します。

ネットワーク環境面においては、一部の学校にて校内一斉接続時に遅延が発生し授業の進行に支障が出る事象が発生したため、令和6年度以降に原因と考えられるネットワーク機器の更新を実施します。

学習面においては、「ICTの日常化」を目指し、教師用デジタル教科書、授業支援ソフト、AI型デジタルドリルの活用研修を核として取り組んできた結果、日常的な活用が進んでいます。

しかしながら、苦手な教職員の活用が進まないなど、教職員間での格差も広がっていることや、1人1台端末の持ち帰り学習についても、一部の学校の実施に留まっており、学校間での端末活用に差が出ている状況であることから、GIGA第2期で改善を行う必要があります。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期では、1人1台端末の日常的な活用をすすめた結果、1人1台端末は学習面において必要不可欠なものとなっています。

そのような中、令和元年度に先行整備した端末は、導入後4年以上が経過し、バッテリーの消耗など、授業での活用に支障が出る場面が増えつつあります。児童生徒の学びを止めないためにも、1人1台端末の着実かつ円滑な更新を進めます。

GIGA第2期においては、次のとおり、1人1台端末の積極的活用を推進し、「個別最適な学び・協働的な学びの充実」を図ります。

### 1. 1人1台端末の積極的活用

各校の教職員がICT活用の目的を理解し、ICT活用指導力が向上できるよう、デジタル教科書や授業支援ソフト、AI型デジタルドリルなどICT活用に関する研修を定期的実施し、教職員のスキルアップに繋がります。

また、平成30年度より配置しているICT支援員の各校1名の配置を継続し、ICT活用のサポートやトラブル対応に加え、授業実践事例等の蓄積・情報共有を行います。

端末の家庭への持ち帰りを全校で実施し、校内及び家庭学習で授業支援ソフトやAI型デジタルドリル等の活用を推進します。

### 2. 個別最適・協働的な学びの充実

学習面において、調べ学習や自分の考えをまとめ発表・表現する場面、教職員と児童生徒、児童生徒同士がやりとりする場面など、ICTを活用する場面はたくさんあります。

児童生徒が自らの考えで、目的や場面に合わせてICTを使い分けて効果的に活用し、課題を発見・解決する力を育成していきます。

また、令和6年度から学習状況に応じて一斉学習・個別学習・協働学習の切り替えが容易に授業支援ソフトを全校で導入し、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。

さらに、児童生徒一人ひとりの特性や理解度・進度に合わせた方法で学習を進めるため、AI型デジタルドリルの活用及び各自が取り組んだ学習履歴をはじめとする教育データの利活用についても検討を行います。

### 3. 学びの保障

文部科学省の「児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）」及び「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」に記載されているとおり、1人1台端末を活用し、心や体調の変化を早期発見する取組が広がりつつあります。

本町においても、こうした動向を踏まえ、GIGA第2期では、日常の授業で端末をより効果的に活用することはもちろんのこと、不登校や特別支援など、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、多様な場面でICTの活用をすすめていきます。